
第 5 編

そ の 他

I 施 設 概 要

1. 企業局庁舎

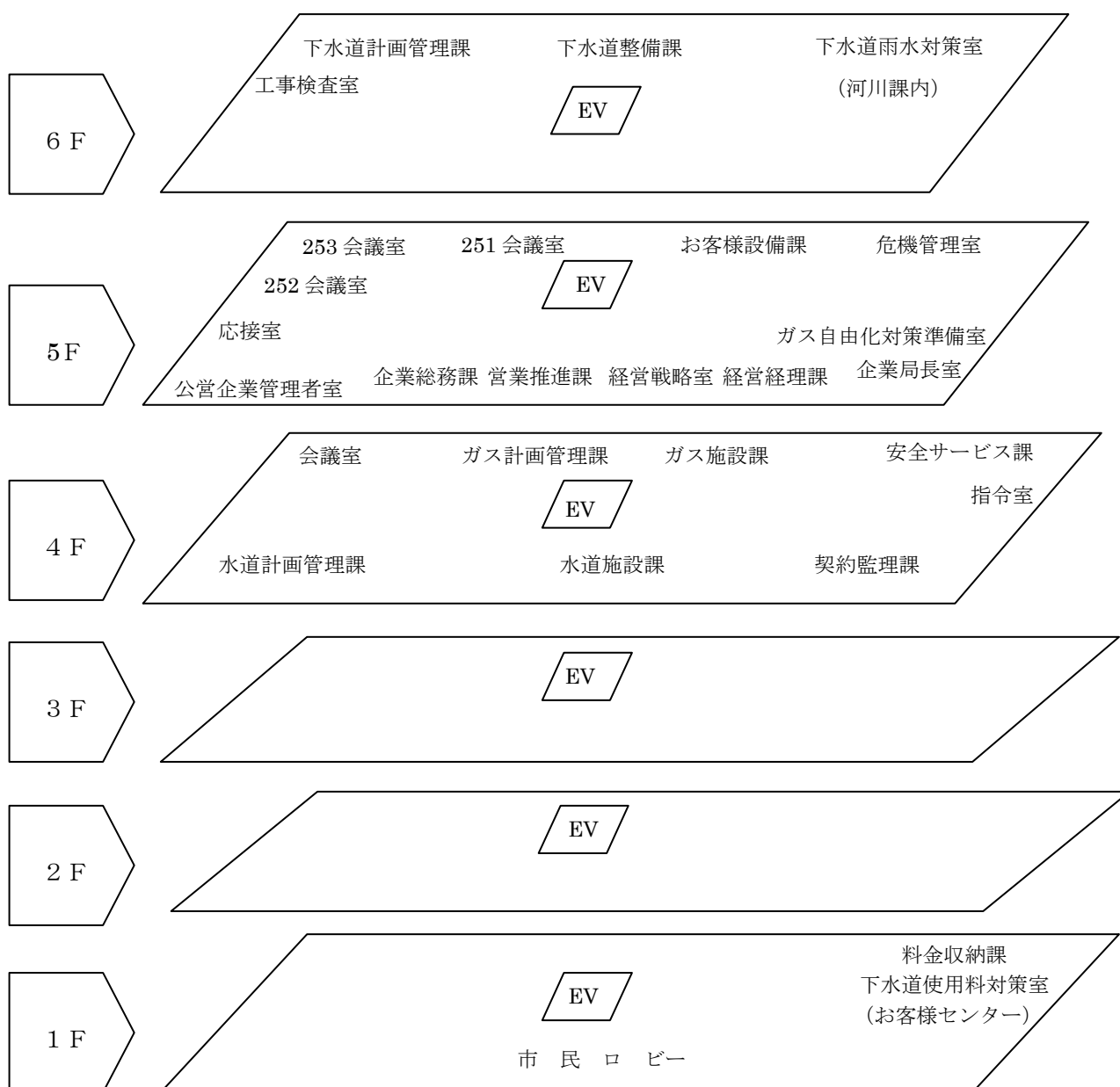
所在地 大津市御陵町3番1号

建築面積 1,703.47 m²

延床面積 10,947.81 m²

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上7階

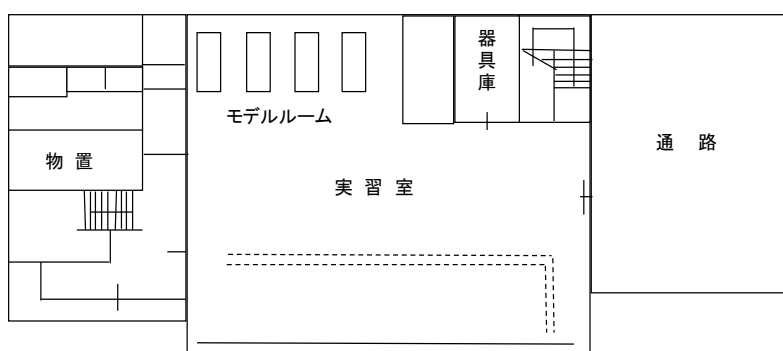
竣 工 平成元年3月



2. 企業局研修センター

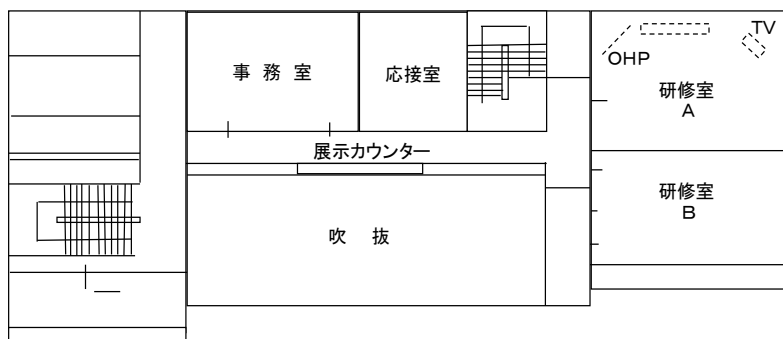
所在地 大津市晴嵐一丁目8番38号
 敷地面積 1,378.9 m²
 建築面積 370.4 m²
 延床面積 854.3 m²
 構造 鉄筋コンクリート造、地上3階
 竣工 昭和62年3月

1F



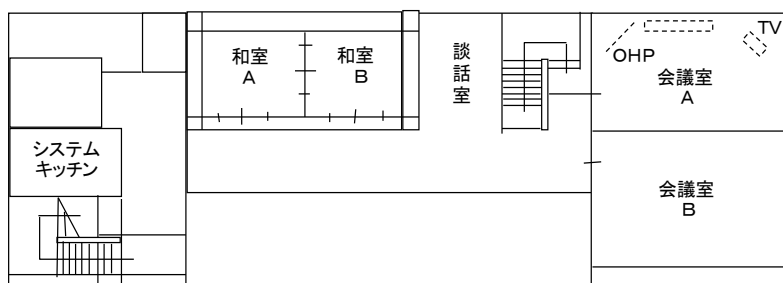
1 F
 実習室 160 m²
 モデルルーム 4 室
 パイプ捻子切機 4 機
 器具庫 11 m²
 物置 15 m²

2F



2 F
 研修室
 A 31 m² 12 人
 B 31 m² 16 人
 応接室 18 m²
 事務室 34 m²
 展示カウンター

3F



3 F
 会議室
 A 32 m² 18 人
 B 40 m² 24 人
 和室
 A 8 畳
 B 8 畳
 談話室 15 m²

Ⅱ 研 修

1. 平成27年度の重点事項

ア. 実務対応能力の向上

階層別教育の強化とともに求められる能力や役割を自覚させ、連帯感の醸成を図る。

派遣研修を推進し、積極的に民間等外部機関の知識やノウハウ等を取り入れる。

機器類の基本操作等を初めとする、各事業に共通する知識や技術の習得を図る。

イ. 災害時対応能力の向上

災害等の緊急時を想定した実効性のある実務研修を拡充し、技術レベルの向上を図る。

フィードバックによる研修効果の拡大など、職場内研修の推進を図る。

ウ. 経営意識の向上

企業局内の研修や各種の派遣研修を活用し、自治体資金の運用や公営企業会計手法等経営意識の向上を図る。

2. 平成26年度実施内容

	研 修 名	対 象 者	実 施 月	回 数	時 間
一 般 研 修	新 任 職 員 研 修	新規採用職員及び局転入者の主幹以下の職員(管理職は希望者)	4月	2	8.0
	新 任 法 令 研 修	〃	5月	2	7.0
	施 設 見 学 研 修	〃	6月	2	13.0
	企 業 局 接 遇 研 修	新規採用職員及び局転入者の主幹以下の職員	8月	1	7.0
	企 業 局 接 遇 研 修 II	局転入者のうち3年目から5年目の主事・技師の職員	11月	1	4.0

	研 修 名	対 象 者	実 施 月	回 数	時 間
実 務 ・ 専 門 別 研 修	設 計 実 務 研 修	工事発注課の新規採用技術職員及び希望職員	4月	1	4.0
	水道・ガス修繕実務(同行)研修	新規採用の技術職員	5月	4	7.0
	工 事 監 督 研 修	工事発注課の新規採用職員及び主任以下の局転入の技術職員	7月	1	4.0
	下水道修繕実務(同行)研修	新規採用の技術職員	7月	2	5.0
	工 事 監 理 研 修	工事発注課の係長級以下の技術職員	9月・10月	3	9.0
	給配水管配管実習	新規採用の技術職員及び局転入者の係長級以下の技術職員	11月	1	7.0
	応急給水技術研修	企業局災害対策要綱に基づき応急給水活動に携わる技術職員	11月	2	6.0
	ガ ス 保 安 教 育	ガス関係課の職員及び保安委託関係業者	11月・12月	5	20.0
	本支管供給管配管実習	新規採用の技術職員及び局転入者の係長級以下の技術職員	12月	1	7.0
	ガ ス 配 管 現 場 実 習	平成23年度～同25年度において、本支管供給管配管実習を受講したガス関係部門の技術職員	1月	1	7.0
	事 故 事 例、修 繕 実 務 研 修	新規採用職員及び局転入者の係長級以下の事務職員	2月	1	6.0
水道・ガス機器類操作研修	水道・ガス関係の新規採用の技術職員及び局転入者の係長級以下の技術職員	2月	1	3.0	

	研 修 名	対 象 者	実 施 月	回 数	時 間
特 別 研 修	企業局コンプライアンス研修	課長補佐級以上の職員	5月	1	1.0
	OJT 推 進 研 修	主幹及び係長級の職位にある技術職員から経験年数と年齢を対象の条件として選出した職員	7月	1	7.5
	緊急自動車ドライバー安全運転研修	緊急車両所持担当課から選出	10月	2	14.0
	一般ドライバー安全運転研修 (1日コース)	新規採用職員及び企業局安全運転整備者会議による選出職員	1月	1	7.0

水道・下水道・ガス事業年報

— 平成27年版 —

平成27年9月 印刷発行

発行所 大津市御陵町3番1号

大津市企業局企業総務部企業総務課

TEL 077-528-2601
